

No.	010	—	3001	事務事業名	畜犬管理事務	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	1 環境施策の総合的推進		主要施策	(1)「環境先進地・東温」づくりの総合的推進				
	事業の対象	犬・猫を飼っている市民				根拠法令	狂犬病予防法						
	事業の目的	最終的	犬を飼っている全ての東温市民に犬の登録、狂犬病予防注射の接種を推進し、狂犬病の発生・蔓延を防ぐこと。人の生命、身体、財産を侵害することのないよう、犬・猫の正しい飼育・管理の啓発・推進を行います。				今年度	狂犬病予防集合注射の実施(5月)、動物遺棄・虐待防止及び防犯を目的とした自主防犯パトロール、狂犬病予防法に基づく野犬捕獲、狂犬病予防注射率の向上、正しい犬猫の飼い方の周知啓発活動を行います。					
	活動内容	①	狂犬病予防集合注射の実施(5月に東温市内の各地区を周り、予防注射をします。)				④	所有者・拾得者からの犬猫の引取り業務					
		②	犬猫の苦情業務(苦情受付後に現地確認し、飼主に対して文章で啓発、指導)及び狂犬病予防注射接種率向上のための周知・啓発活動				⑤						
		③	野犬捕獲業務及び死骸回収業務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
		狂犬病予防注射接種率		(集合注射頭数+個別注射頭数)/登録実頭数×100			%	目標 65	65	70	100		
去勢手術数		制度の普及促進のために手術実施頭数を指標としました。			頭	目標 実績	150 90	150	150				
						目標 実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	13 千円	25 千円	18 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	1,612 千円	1,275 千円	1,308 千円								
		一般財源	1,318 千円	1,610 千円	1,648 千円								
	計(A)	2,943 千円	2,910 千円	2,974 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	4,523 千円	0.554 人	3,346 千円	0.554 人	3,351 千円					
		臨時職員工数・経費	0.500 人	851 千円	0.462 人	841 千円	0.462 人	866 千円					
	全体事業費(A+B)		8,317 千円	7,096 千円	7,191 千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現在、狂犬病は発生していませんが、狂犬病注射率70パーセント以上の確保が蔓延防止には必要だと言われています。東温市の注射率はまだ達しておらず、当面、集合注射の利用推進、宣伝活動での注射率向上を図る必要があります。												
有効性	平成20年10月より犬猫引取りが有料化となり、捨犬・捨猫の増加が懸念されましたが、現在そのような傾向はありません。しかし、野犬等の苦情は継続してあるため、保健所の協力の下、捕獲器等による野犬捕獲、また動物遺棄防止のための施策に努める必要があります。												
達成度	東温市の狂犬病注射率は依然として低いため、集合注射の利用推進、宣伝活動での注射率向上を図る必要があります。												
効率性	現在、近隣市町において、民間実施の狂犬病集合注射が行われてきています。割安なため、東温市内で実施されるようになれば、市と民間実施の集合注射の二極化が予想され、人員・手段等の改善の余地が出てきます。												
当面の課題	注射に関しては実施率向上。野犬に関しては苦情もあり、保健所との協力により捕獲を実施していく必要があります。また、遺棄による野犬の増加や野犬への餌やり等により野犬の住み付きも懸念されており、捕獲自体に限度があるため、看板等の設置やパトロール実施等による動物遺棄防止にも努める必要があります。												
改訂計画	野犬対策に関しては捕獲、パトロール、看板等による呼びかけ、注射率向上に関してはポスター、広報、ホームページ、回覧等による周知活動を行います。また、平成23年度からは、犬・猫の不妊去勢手術補助の実施、また狂犬病予防注射を未接種の犬がいる世帯には再通知を行い、狂犬病予防注射実施率向上を目指します。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	安易なペットの遺棄により野犬等の対策は年々困難な状況となっています。県の保健所及び地域の代表者との協働体制の連携強化を図り、捕獲の向上と遺棄防止に向けた取り組みを継続してください。												

No.	010	—	3002	事務事業名	環境対策事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	1 環境施策の総合的推進		主要施策	(4) 公害等環境問題への対応				
	事業の対象	被害を被っている住民				根拠法令	東温市未利用地の環境保全に関する条例、各種環境法令						
	事業の目的	最終的	被害が解消されるよう対処していきます。			今年度	住民からの苦情相談に応じて現場確認等の調査を行い、問題解決のための対処をしていきます。						
	活動内容	①	市内未利用地等の雑草等の苦情対応事務			④							
		②	悪臭、騒音、水質汚濁等の苦情対応事務			⑤							
		③	公害等調査報告関係事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	2,261 千円	0.277 人	1,673 千円	0.277 人	1,676 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,261 千円		1,673 千円		1,676 千円						
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	生活環境を保全していくために、個々の事案について対処していく必要があります。												
有効性	被害を解消していくことは、環境保全を図る上で有効であると思われます。												
達成度	苦情案件については概ね対処できており、成果が表れています。												
効率性	問題が拡大する前に対応しており、効率的に実施できています。												
当面の課題	苦情事案の中には、住民間のトラブルによるものもあり、また、被害の感じ方についても個人差があるため、行政の対応について一律に取扱いができないことです。												
改革計画	住民サービスについての判断が個々に異なるため、一律的な改革計画は作れないことから、今後も個別事案ごとの対応により実施します。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	個々の案件により解決方法が異なることから、事案ごとに柔軟に対応してください。重要案件については、苦情処理経過報告書にして、将来の苦情対応の参考事例として情報共有を図ってください。												

No.	010	—	3005	事務事業名	環境検査・測定その他事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	市民環境課		係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	1 環境施策の総合的推進		主要施策	(4) 公害等環境問題への対応				
	事業の対象	東温市内の河川等、牛舎周辺地域、基幹道路周辺地域、六価クロム発生地域				根拠法令	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法等						
	事業の目的	最終的	環境負荷の発生を早期に把握し、地域環境の保全を図っていきます。			今年度	河川の水質調査、牛舎周辺の悪臭の測定、基幹道路周辺の騒音測定及び面的評価、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を実施し、現況を把握することにより環境保全を図っていきます。また、個別の公害等の事案について、現地調査を行い改善を図っていきます。						
	活動内容	①	市内31箇所の河川の水質検査の実施			④	六価クロム発生地域7箇所の観測井戸のモニタリング調査						
		②	牛舎周辺地域の悪臭測定			⑤	個別の公害苦情事案の対応						
		③	基幹道路周辺3箇所の騒音測定及び個別の住居等の等価騒音レベルを評価										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		河川の水質検査場所		水質の経年変化の把握		箇所	目標 31	31	31	31			
騒音の測定場所		基幹道路周辺の騒音測定及び面的評価による現況把握		箇所	目標 10	10	3	3					
六価クロム観測井戸		モニタリング調査による現況把握		箇所	目標 7	7	7	7					
					実績 31	31							
					実績 10	10							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,635 千円	2,583 千円	3,178 千円								
	計(A)	2,635 千円	2,583 千円	3,178 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,769 千円	0.462 人	2,790 千円	0.462 人	2,795 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		6,404 千円	5,373 千円	5,973 千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	環境保全を図るために、各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生を早期に把握し、対処していく必要があります。												
有効性	環境負荷を早期に把握することができ、対応ができます。												
達成度	計画的に各項目の検査・測定を実施しており、目標は達成されていると思います。												
効率性	公害等の拡大を未然に防ぐことができるため、効率性はあると思われます。												
当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、問題がある事案については早期に対処していく必要があります。なお、24年度から基幹道路の騒音測定に加え面的評価を行い全体の騒音状況を把握します。												
改 革 画	今後も計画的に検査及び測定を実施していきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	計画的な検査・測定を実施し、適切な環境保全の維持に努めてください。												

No.	010	—	3010	事務事業名	清掃総務事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実				
	事業の対象	東温市住民、市内全事業所、各種ボランティアグループ、市内全域各区、各組				根拠法令	廃棄物処理法、リサイクル関係法令等						
	事業の目的	最終的	一般廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の推進と共に、市内から排出された一般廃棄物の適正処理の確保等、循環型社会形成構築に向けた円滑な推進 ①ごみ完全有料化 ②粗大ごみの戸別収集 ③ごみの集積場所の集約化 ④ごみ処理体制の統一化 ⑤ごみ処理体制の充実			今年度	市指定ごみ袋によるごみの減量化の推進や、ごみ処理体制の統一化の検討及び今後のごみ処理の指針となる一般廃棄物処理基本計画の見直し等を行い、適正なごみ処理の推進を図っていきます。						
	活動内容	①	市指定ごみ袋・ごみカレンダーの作成、各区配布作業及び組外世帯者への配布事務			④	廃棄物検討委員会で、今後のごみ処理の方向性を検討						
		②	出前講座による市民へのごみ分別周知徹底及び廃棄物処理法に基づく違法行為の処理業務			⑤	一般廃棄物処理実施計画の策定						
		③	廃棄物処理法、リサイクル関係法令、県条令等に基づく各種事務処理										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	7,959 千円	4,809 千円	6,849 千円								
		一般財源	4,424 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	12,383 千円	4,809 千円	6,849 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.800 人	13,568 千円	1.662 人	10,037 千円	1.662 人	10,053 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		25,951 千円	14,846 千円	16,902 千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	一般廃棄物の適正な処理は、市の重要な業務です。												
有効性	ごみの分別を行うことにより、リサイクルの推進を図っています。また、ごみ袋に記名していただくことにより、責任のある排出が図られています。												
達成度	分別等の周知を図ることにより、リサイクルを含めた適切な処理を行っています。												
効率性	近隣市町で既に実施している電子化が、必要と考えます。												
当面の課題	市民にとって一番身近な問題であり、市民のニーズに対応し、なおかつ市民の理解を得つつ円滑に処理できる収集形態の構築が当面の最重要課題です。												
改革計画	現在、2地区体制の収集形態を見直し、3地区体制にして収集形態を統一化します。収集頻度の見直し等について、諮問機関である「廃棄物検討委員会」において審議する予定です。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市民生活に密着した非常に重要な業務であり、更なるごみ収集体制の充実を図ることが必要です。												

No.	010	—	3022	事務事業名	不法投棄・環境パトロール事業	細事務事業名		公的関与	2				
PLAN	課名	市民環境課		係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	14年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(4)ごみの不法投棄対策の推進				
	事業の対象	市内に不法に投棄された廃棄物				根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ほか						
	事業の目的	最終的	不法投棄廃棄物の回収による生活環境の向上及び違法行為者への指導による不法投棄の根絶を図ります。			今年度	不法投棄廃棄物の回収及び投棄者への指導を継続することによりごみの回収量を減少させます。						
	活動内容	①	市内を巡回監視することで不法投棄を早期に発見します。			④	ボランティア清掃で回収された廃棄物を処理することで地域における推進活動を支援します。						
		②	早期回収をすることで更なる不法投棄を防止します。			⑤							
		③	行為者を特定し指導をすることで不法投棄を根絶します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		不法投棄回収量		年度ごとの回収量を比較して事業の効果を測るため		kg	目標 ↓	↓	↓	↓			
					実績 11,490	13,250							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	3,045 千円	2,695 千円	4,494 千円								
	計(A)	3,045 千円	2,695 千円	4,494 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	754 千円	0.092 人	556 千円	0.092 人	557 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,799 千円	3,251 千円	5,051 千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	不法投棄を把握し、回収を行うことにより、地域環境の保全を図っています。												
有効性	類似する国、県の事業では、ごみの回収をしないため、有効と考えます。												
達成度	年々回収量が減少しており、事業効果があったと考えます。												
効率性	入札により民間委託しており適正と考えます。												
当面の課題	本来管理者が処分すべきものまで回収をしているため、法の主旨に従い各管理者が適正に処分するよう指導する必要があります。また、家庭ごみの不法投棄をなくすよう啓発をしなければなりません。												
改 革 画	児童を対象とした環境教育、啓発看板の設置及び管理者が適正管理するよう指導又は要請を行います。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	適切な処理体制の確保と排出者の意識の高揚が不可欠です。市民への周知啓発活動は、すぐに結果が出るものではありませんが、不法投棄の根絶に向けて地道な啓発活動の推進やより効果的で具体的な実施方法について、監視体制の強化や罰則等の制度化を含めて検討してください。												

No.	010	—	3023	事務事業名	ごみ収集事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	45年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実				
	事業の対象	東温市民				根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ほか						
	事業の目的	最終的	廃棄物の排出抑制及び分別によるごみの減量により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。			今年度	適切な廃棄物処理を図っていきます。						
	活動内容	①	家庭から排出される一般廃棄物を収集します。			④							
		②	収集した一般廃棄物を適正な方法で処理します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		リサイクル率		資源化量/処理量×100		%	目標	24.9	26.2	27.3	29		
					実績	22.6	23.5						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	11,764千円	14,059千円	6,707千円								
		一般財源	187,466千円	180,675千円	199,682千円								
		計(A)	199,230千円	194,734千円	206,389千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300人	2,261千円	0.277人	1,673千円	0.277人	1,676千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		201,491千円		196,407千円		208,065千円						
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民から直接要望が多いのは、プラスチック類の毎週収集ですが、現状では月2回の収集となっています。保管場所及び予算が確保できれば収集回数が見直しが見込めます。												
有効性	ごみの排出抑制及び減量化を実現するためには、現在の社会情勢下では現体制は有効と考えます。												
達成度	資源物(特に古紙)の持ち去りが行われており、収集量・資源化量ともに激減しています。このことが資源化率を低下させる大きな原因と考えます。												
効率性	可能なものから入札を導入し、ほとんどの業務を民間委託しています。												
当面の課題	プラスチック類の収集回数を始めとして収集体制を改善する余地があります。事業費を抑制するために、処理方法の見直しや利用できる民間活動がないか引き続き検討します。												
改 革 画	周辺市町の有料化や戸別収集等の施策を参考に収集体制を改善・充実させます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	旧町のごみ収集体制の統一化に向けて検討してください。また、自治区や組に加入していない世帯の収集体制を整備する必要があります。												

No.	010	—	3025	事務事業名	清掃施設事業	細事務事業名	清掃施設管理運営事業	公的関与	3				
PLAN	課名	市民環境課	係名	環境対策係	電話番号	089-964-4415	メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(2)ごみ処理体制の充実				
	事業の対象	東温市民及び市内事業所				根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他						
	事業の目的	最終的	分別して排出された廃棄物を適正に処理します。			今年度	安全かつ適正に処理を行います。						
	活動内容	①	クリーンセンターの運営			④							
		②	リサイクルセンターの運営			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		事故発生件数		施設での事故件数		件	目標 0	0	0	0			
					実績 0	0							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	3,445 千円	6,814 千円	5,091 千円								
		一般財源	60,614 千円	57,045 千円	62,768 千円								
		計(A)	64,059 千円	63,859 千円	67,859 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	2.200 人	16,584 千円	1.846 人	11,148 千円	1.846 人	11,166 千円					
		臨時職員工数・経費	7.000 人	11,914 千円	7.000 人	12,740 千円	7.000 人	13,118 千円					
	全体事業費(A+B)		92,557 千円		87,747 千円		92,143 千円						
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	生活環境を清潔に保つために必要不可欠な事業です。												
有効性	現状では事故無く安全に管理できていますが、施設の老朽化が一部で目立つので、改修が必要です。												
達成度	安全運転管理を徹底し、事故の発生を防いでいます。												
効率性	保守点検を行うことにより、改修箇所の年次計画を立てて、効率的な維持管理を行っています。												
当面の課題	施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加が挙げられます。												
改革計画	計画的な点検及び補修工事により延命を図ります。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	施設の老朽化を踏まえて、広域化、民間委託、単独処理等の将来の方向を見据えた検討に着手する必要があります。												

No.	010	—	3026	事務事業名	生ごみ処理機設置事業補助事務	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	市民環境課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	5 生ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(3) 生ごみ減量・3Rシステムの構築			
	事業の対象	東温市に住民票を有し、容器又は処理機を設置して家庭での使用と適正な管理を行い、堆肥の自家処理に努め市税に未納がない方					根拠法令	東温市生ごみ処理容器等購入費補助金交付要綱					
	事業の目的	最終的	家庭から排出される生ごみの堆肥化・減量化で、市クリーンセンターでの焼却によるCO2排出抑制を図ります。				今年度	容器等の本体購入価格の2分の1とし、容器については、3,000円、処理機については、20,000円を限度とし補助をします。					
	活動内容	①	ごみの堆肥化・減量化				④						
		②	市民意識の高揚など普及啓発				⑤						
		③	市クリーンセンターの焼却によるCO2排出抑制(A重油使用量の削減)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
		設置基数(普及率)		まずは普及促進する必要がありますので設置基数を指標としました。			基	目標	容器30基・処理機25基	容器30基・処理機20基	容器50基・処理機15基	↑	
燃やすごみの減量化		市クリーンセンターで焼却のCO2排出抑制のため、ごみ減量化の指標設定をしました。			%(ト)	目標	→	→	→	5%削減			
A重油使用量		市クリーンセンターのCO2排出抑制のため、A重油使用量削減の指標設定をしました。			%	目標	(限界値レベルまで削減済)	→	→	→			
						実績	→	対平成19年度比で29%削減					
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	161千円	239千円	456千円								
	計(A)	161千円	239千円	456千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.076人	573千円	0.075人	453千円	0.075人	454千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		734千円	692千円	910千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	県内市町のほとんどで同様の事業が実施されています。生活に密着した温暖化対策として毎年コンスタントに導入が進みつつあります。												
有効性	市クリーンセンターでのごみ焼却で排出されるCO2は、ごみ1トンあたり約62kgです。この補助制度は家庭でのCO2排出削減効果が期待されます。												
達成度	ごみ分別の見直しによりごみ質のカロリーを上げることで、A重油の使用量を平成19年度から平成23年度までに29%削減を達成しています。												
効率性	市民に環境意識を持ってもらう効果も期待でき、家庭における環境教育の位置づけも評価できます。												
当面の課題	生ごみ処理機の場合は、処理に電気等のエネルギーを消費しますので、堆肥を農地還元や家庭菜園での利用を図ることで、より効率的な補助制度の実施が必要と思われます。また、市の緑のカーテン推進事業など施策との関連付けが重要です。												
改計画	容器式の場合で、ボカシやEM菌、えひめAIの活用を進めていきます。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	他の環境施策との組合せを検討するなど、政策連携につながる展開を模索する必要があります。												